

『支えあう力、がんピアサポートを みんなで考えよう』

参加者定員
一般100人
入場料無料
申込不要

期日

2012年 3月4日(日)

12:00開場／13:00開演／16:00終演予定

会場

沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ

6階: 王朝の間(那覇市前島3-25-1 / TEL:098-860-2111)

プログラム

総合司会: 上原 弘美 (沖縄県地域統括相談支援センター ピアサポーター・看護師)

座長: 増田 昌人 (琉球大学医学部附属病院がんセンター長・診療教授)

13:05~

『全国のがんピアサポートの現状と課題』

天野 慎介 氏 (NPO法人グループネクサス理事長、厚生労働省がん対策推進協議会会長代行)

13:25~

『命の授業~子供たちに伝えること~』

三好 綾 氏 (NPO法人がんサポートかごしま理事長、前厚生労働省がん対策推進協議会委員)

13:45~

『がんと就労について』

桜井 なおみ 氏

(NPO法人HOPE★プロジェクト理事長、がん総合相談研修プログラム策定委員兼作業部会長)

14:05~

『がん拠点病院内におけるがんピアサポートの役割』

齋藤 とし子 氏 (千葉県がんセンターピアサポーター、千葉県がん対策審議会委員)

14:35~

シンポジウム:

~16:00

『仲間として支えるために、どのようにかかわるか』

座長: 天野 慎介 氏

シンポジスト: 三好 綾 氏, 桜井 なおみ 氏, 齋藤 とし子 氏,

儀間 昌代 氏(オリブ山病院緩和ケア認定看護師・サバイバーナースの会「ぴあナース」メンバー),

棚原 陽子 氏(琉球大学医学部附属病院緩和ケア認定看護師)

※「がんピアサポート」とは、がんを体験した本人やその家族が、がん患者さんを支える活動です。同じような立場の人による支援は気持ちの共有と現実的なアドバイスができるプラス面があります。「ピアサポートとは何か」、「ピアサポートの現状と今後」等について県内外有識者と意見交換ができる貴重な講演会です。

『支えあう力、がんピアサポートを みんなで考えよう』

日時:平成24年3月4日(日)

開場:12:00~

開演:13:00~16:00

会場:沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
(6階・王朝の間)

演者／シンポジストプロフィール



あまの しんすけ

天野 慎介 氏

(NPO法人グループネクサス理事長、
厚生労働省 がん対策推進協議会委員代行、
がん総合相談研修プログラム策定委員長)

1973年 東京都生まれ、慶應義塾大学商学部卒。
2000年 血液がんの一つであるリンパ腫を発症し、化学療法、
放射線療法、造血幹細胞移植を経験。現在、NPO法人グルー
プ・ネクサス理事長、厚生労働省がん対策推進協議会会長代
理、文部科学省がんプロフェッショナル養成推進委員会委員、
沖縄県がん診療連携協議会がん政策部会長など。



さいとう としこ

齋藤 とし子 氏

(千葉県がんセンターピアサポーター、
アイビー千葉【乳がん体験者の会】)

1985年 右乳がん全摘手術
1985年 あげぼの会(乳がん体験者の会)入会
2007年 Breast Cancer Network Japa あげぼの千葉代表
千葉県がんセンター患者相談支援センターに、ピアカ
ウンセラーとしてパート勤務
2010年 アイビー千葉(乳がん体験者の会)代表
2008年 千葉県がん対策推進部会委員
千葉県がん患者団体連絡協議会会長
2010年 千葉県がん対策審議会委員。現在に至る



さくらい

桜井 なおみ 氏

(NPO法人HOPE★プロジェクト理事長、
一般社団法人CSRプロジェクト理事、
キャンサー・ソリューションズ株式会社
代表取締役、産業カウンセラー)

乳がん体験者
NPO法人HOPE★プロジェクト理事長

キャリアウーマンとして活躍しているさなか、乳がんと
診断され、手術、抗がん剤治療、放射線治療を経て社会復
帰を果たした自らの経験をもとに、がん体験をもとに小
児・子育て・働き世代のがん患者支援の必要性を感じ、
「能動的な患者であろう」とNPO法人HOPE★プロジェ
クトを設立。がん患者が直面する心や体、就労や経済問題に
ついて取り組んでいる。



みよし あや

三好 綾 氏

(NPO法人がんサポートかごしま理事長)

長崎大学教育学部中学校教員養成課程国語専攻卒業。
塾講師等を経て、2002年27歳の時に乳がんの告知を受ける。
2004年 NPO法人ピンクリボンかごしま事務局長
2009年 NPO法人がんサポートかごしま理事長に就任。
2009年~11年(4月) 厚生労働省がん対策推進協議会委員。
現在、鹿児島県がん対策推進協議会委員。
著書「乳がんなんてやつつけろ！」



ぎま まさよ

儀間 昌代 氏

(オリブ山病院緩和ケア認定看護師、
サバイバーナースの会【びあナース】メンバー)

1999年 現在の特定医療法人葦の会オリブ山病院就職。
2010年 神奈川県看護協会認定看護師教育課程緩和ケア
分野を終了。同年認定審査に合格。

サバイバーとして

1993年 26歳 乳がんにて手術
1998年 31歳 再発にて手術、化学療法、放射線療法、ホル
モン療法施行。
2001年 33歳 再々発にて手術施行。
2011年 「びあナース」の活動に携わる。



たなはら ようこ

棚原 陽子 氏

(琉球大学医学部附属病院緩和ケア認定看護師)

2001年 緩和ケア認定看護師資格取得、緩和ケアコンサル
テーションを始める
2007年 夫をがんで亡くす。
2008年 琉大病院へ入職。同年、医療リハビリナース
セラピスト資格取得
現在、琉大病院緩和ケアチームに在籍。
院内がん患者会ゆんたく会の担当看護師も務める